

食と健康—消費者の選択

とき：2016年11月5日(土) 13:00~17:30

会場：東京大学弥生キャンパス弥生講堂

キーワード：食習慣と病気、健康を維持する食の成分、サプリの問題と正しい利用法、表示とその活用
法、アルツハイマー病と骨粗鬆症は食事で回避できるか、科学的証明とはどういうことか？

1. シンポジウムの趣旨

生活習慣病にならないようによい食事を心がけたい、体によい食材や食品成分なら積極的に活用したい。こう思う消費者は多い。それに応えて、「〇〇がよい」という情報や「健康食品」があふれ、「健康食品」は一大ビジネスになってきた。

どの情報を信頼し、どの食品を選択したらよいか。それを助けるために表示制度も拡充された。しかし、表示制度も含め、問題や限界があることも多く指摘されている。

そこで、専門家により、①基本となる食習慣と病気の関係および働く食の成分、②農林水産業の活性化と機能性、③サプリの問題と正しい利用法、④生鮮食品物の健康機能性と表示の活用法、⑤科学的証明とはどういうことか？について解説し見解を述べる。最後に、⑥食品と健康、食品のリスクに関する真実と科学に関する総括コメントを提示する。

2. プログラム

総合司会

日本農学アカデミー副会長・企画委員 西野伊史

- | | | | |
|------------------|-------------------------------|---------------------------|-------|
| 13:00~13:03 | 開会あいさつ | 日本農学アカデミー会長 | 古在豊樹 |
| 13:03~13:20 | 1. シンポジウムの趣旨 | 企画委員会世話人 | 三輪睿太郎 |
| 13:20~14:00 | 2. 基調講演：食習慣と健康維持 | 女子栄養大学副学長、栄養科学研究所所長 | 香川靖雄 |
| 14:00~14:30 | 3. 食の健康効果の科学的証明：在り方、見方、活かし方 | 京都大学大学院農学研究科教授 | 河田照雄 |
| 14:30~15:00 | 4. 食品の機能性と表示制度：その活用法と生鮮食品への表示 | 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構理事 | 大谷敏郎 |
| —————休憩 15分————— | | | |
| 15:15~15:45 | 5. 漁業・漁村の活性化と水産物の機能性 | 国立研究開発法人水産研究・教育機構本部研究推進部 | 金庭正樹 |
| 15:45~16:15 | 6. 科学的証明とはどういうことか？ | 株式会社鳥居食情報調節研究所 | 鳥居邦夫 |
| 16:15~16:45 | 7. 食品と健康、食品のリスクに関する真実と科学 | (公財)食の安全・安心財団理事長 | 唐木英明 |
| 16:50~17:30 | 総合質疑 | 司会 日本農学アカデミー副会長・企画委員 | 西澤直子 |
| 17:30~17:33 | 閉会のあいさつ | (公財)農学会会長 | 長澤寛道 |